



# 学校だより

平成28年5月27日

横浜市立高田中学校

5月号(第28-03号) Ⅱ: 591-4183 校長 福田 之男

## 中期学校経営方針

中期学校経営方針とは、「学校の特色を基に、学校教育目標の達成に向けた3年間の学校経営中期取組目標と具体的取組等を明示したものです。取組目標が3年後に期待する姿です。その目標を達成するために、毎年具体的取組について評価し、次年度の具体的取組を決定していきます。

横浜市立 高田中学校 平成28年度版 中期学校経営方針 (平成28~30年度)

学校概要					
創立	29周年	学校長	福田 之男	副校長	鬼丸 玲子
学期	3	学期制	児童・生徒数	335人	
学級数	一般級: 9	個別支援級:	4	主な関係校: 高田小学校 高田東小学校	

学校教育目標	
<p>学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる。(ストリートスマート、地域リーダーの育成)          子どもたちの自己実現を支援するために次の力を(は)ぐくみます。          ＊自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力(知)          ＊生命を尊重し、心身の健康を維持向上していく力(徳・体)          ＊ともに認め合い、社会参画に努め、自他および社会を高めていく力(公・関)</p>	

学校の特色	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□学校周辺には農地があり、その周囲に住宅が広がり、自然環境に恵まれ他地域である。</li> <li>□小中12人会議、90人会議、校長のランチミーティングなどを実施することにより、小中の連携が密である。</li> <li>□年齢層は若いのが、生徒や保護者に寄り添った対応ができる職員が多い。</li> <li>□地域全体で学校を守り発展させようと、PTAを中心に、学校に対して協力的である。</li> <li>■生徒は学習への関心や意欲があり、真面目に取り組むが、自信のない生徒が多い。</li> </ul>

学校経営中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的でバランスのとれた学校づくりの実現に向け、教職員相互が啓発・連携し合い学校経営への参加意欲を高めるとともに、組織的・効率的な学校運営に努めます。</li> <li>・生徒一人ひとりが学力の向上を実感でき、価値ある生き方を求めて自己変革していくことを支援するため、教職員の研修を充実し、共通理解を深め理解力・指導力の向上につなげます。</li> <li>・開かれた学校づくりを一層推進し、学校・家庭・地域との連携・協働による学校づくりを進めます。</li> </ul>	

小中一貫教育の取組	
5高田中学校ブロック : 高田中学校 高田小学校 高田東小学校	

9年間で育てる子ども像	自ら学び、考え、表現することのできる子ども
自校の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間を活用し、情報収集を行い、考えたことを表現する力を育成する。</li> <li>・ICT機器を活用し、生徒の学びへの興味・関心を喚起する。</li> <li>・各教科の指導において言語活動の場を単元や単位時間の中で設定し、随時適切な評価を行う。</li> <li>・年間2回情報交換のための研究授業を実施する。</li> </ul>

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	基本的な学習態度の習慣化を図る指導とともに、言語活動の場を授業に設定することにより、思考・判断・表現の力を育む。	全国や市の学力・学習状況調査の結果を検証し、授業に生かしていく。研究授業を行い、教職員がお互いの授業を見合い高め合う。各教科において言語活動の力を高める授業の展開を研究する。
豊かな心	全教育活動で道徳・人権教育を推進し、互いの違いを認め合い、自らの生き方を切り拓き、共に安心して学校生活を送れる生徒を育成する。	生徒理解研修会(人権・道徳)を実施して子どもの実態を多角的に理解することで、一人ひとりが安心して学校生活を送ることができるようにする。道徳の授業では、生徒の成長過程や学校行事に合った教材を用い、生き方についてより深く考える力を養っていく。人権作文コンテストに全員が参加することで、人権への理解と意識を高める。
健やかな体	自らの心や体の状態を把握し、安全面に留意し、運動の意義や効果について関心と理解を深め、体力向上・運動習慣の改善を自ら目指す生徒を育成する。	日々の健康観察、健康診断、健康相談活動から健康状態を把握し、調和のとれた生活を続けるための支援を行う。資料を活用した健康教育を通して、健全な体の育成のための知識を深める。体力テストをもとに自分自身の体力を知り、向上のための持続的な運動を行う。
生徒指導	生徒・保護者との信頼関係を深め、生徒理解につなげ、全職員で基本的な生活習慣の確立を目指し、共通理解・情報の共有化をすすめる。規範意識の指導に努める。	学習や学級活動を充実させることで、生徒の自尊感情を高める。毎月の生活アンケートを実施することで、生徒理解を深め、教育相談の充実を図る。YYPアセスメントを活用することで、生徒理解を深め、学級活動の充実を図る。
キャリア教育	生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。	小中一貫教育推進の取組と連動させ、9年間のキャリア教育(自分づくり活動)の指導計画を作成する。キャリア教育の根幹を表現力の育成、言語活動の活性化と位置づけ、すべての教科でそれらの指導場面を組み入れた授業を工夫する。
特別支援教育	特別な支援を要する生徒について教職員の共通理解を図り、家庭との連携を深め、学校生活の様々な場面で、個々の特性や状態に応じた指導に努める。	一般学級に在籍する、特別な支援を必要とする生徒の「個別支援計画」および「個別指導計画」の作成の仕方を全職員に周知する研修会を開く。個別支援級生徒の個々の特性や課題をしっかりと把握し、一人ひとりにあった支援・指導を行う。
学校運営協議会・地域連携	教育活動について積極的に発信し、保護者や地域住民からの理解と信頼を高めるとともに、地域と連携・協力を密にし、生徒の地域での活動を進める。	学校だよりやホームページなどを用いて情報発信に努める。学業地連、地区懇談会、学校運営協議会などを活用し、地域と意見交換をする。地域の活動に生徒が参加できるように体制を整備する。
人材育成・組織運営	人材育成の視点を重視した組織編成を進め、若手職員、中堅職員を組織のリーダーとして起用し、更なる組織の活性化を図る。	自己観察書の各分野にキャリアステージに応じた人材育成の目標を設定する。学年会・指導部会を人材育成の場として活用し、経験の浅い職員へ適切な指導・助言を行う。メンターチームを組織し、お互いが学びあう場や体制をつくる。

## 学校運営協議会の開催

5月14日（土）の9時30分より、今年度第1回目の学校運営協議会が開催されました。学校運営協議会とは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

学校運営協議会の主な役割として、

- 「校長の作成する学校運営の基本方針を承認する」
- 「学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる」
- 「教職員の任用に関して教育委員会に意見が述べられる」

の3つがあります。これらの活動を通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができます。学校運営協議会は、「地域とともにある学校づくり」を進める有効なツールです。学校運営協議会の構成メンバーは、連合町内会会長様をはじめとする地域の皆様、保護者代表の本校PTA会長様、幼稚園の園長先生、小学校の校長先生、中学校の校長、副校長です。

会の内容は次のとおりです。最初に校長より、「中期学校経営方針」の説明があり、その後2校時目の授業を参観していただきました。授業参観の後に、校長より「本年度の指導の重点、具体的な取組」について説明と提案があり、その後、委員の皆さまから授業をご覧になっての感想と意見交換がありました。生徒の授業への取組と教員の指導について、委員の皆さまからは、概ね肯定的なご意見をいただきました。改善点として、生徒の発表するときの声が小さく自信がない様子がうかがえるところをご指摘をいただきました。

この学校運営協議会は、年間4回の開催を予定しております。今年度より、授業の様子だけではなく、体育祭や文化祭を参観していただき、授業以外での生徒の取組にもご意見をいただけたらと思っております。

## 花殿活動の実施

5月19日（木）の6時間目に、花殿活動を実施しました。この活動の目的は、「①生徒一人ひとりが自分の花の苗を植え、成長を観察することを通して、生命の尊さや責任感を学ぶ。②学校に多くの花を飾ることを通して、自然を愛する心を育て、豊かで潤いのある教育環境をつくる。」というものです。



学校の中庭に、鉢植えの花が飾られていますが、その鉢植えが、花殿活動で植えられたものです。最初に美化委員会より、花の植え方の説明があり、その後、学年、クラスごとに鉢に花

を植えていきました。先日より、この準備のために、鉢植えが中庭から撤去され寂しい状況でしたが、また、花が飾られ、訪れる人の目を楽しませてくれています。

## ありがとう！ 下田バザーボランティア

5月15日（日）「活動ホームしもだ」で、下田バザーが行われました。当日はお天気が良く、とてもさわやかな一日でした。

今回、福祉委員会を通して、各クラスでボランティアを募集したところ、全校で26名の生徒が名乗りをあげてくれました。

当日は9時に学校を出発し、10時からバザーが始まりました。

ボランティア生徒は、ゲーム担当と販売（ポップコーン・わたがし・飲み物）に分かれて活動しました。

射的ゲームは簡単そうでけっこう難しいものでしたが、小さい子どもたちに優しく説明してあげている姿は、頼もしいお兄さん、お姉さんでした。

ポップコーンはちょっとバターを加えただけで抜群のおいしさになり、スタートから1時間半ほどで完売しました。わたがしは最初うまく巻き取れず大変でしたが、徐々にコツをつかみ、途中長蛇の列ができるほどの人気ぶりでした。わたがしチームは、日吉台西中学校の生徒会メンバーと協力して活動し、交流もできました。飲み物は最後は出張販売までして、売り上げに貢献しました。昼頃、会場の公園にタカタンも登場し、バザーを盛り上げてくれました。

休憩時間には他のブースへ行って、買い物をして楽しむ場面もありました。片付けも積極的に行い、ホームの方からも大変感謝された活躍でした。

また、今回PTAの方も10名お手伝いくださり、本当にありがとうございます。

これからも、学校の内外を問わず、自分にできそうなことは進んで「やります！」と言えるボランティア精神旺盛な高中生であって欲しいと思います。期待しています。



## 学校配当予算 27年度決算・28年度予算

平成27年度の学校配当予算の決算と今年度の学校配当予算は次のとおりです。28年度予算は、総額で増加していますが、この増加分は、今年度より、教科書が変わったため、指導書などの購入に充てられます。指導書などの購入分を差し引くと、前年度並みの予算となります。昨年度の予算では、各普通教室のテレビ台をより使い勝手のよいものに変更したり、実物投影機を普通教室全てに設置したりすることにより、思考・判断・表現力を培う指導に生かせるよう工夫しました。今年度も、限られた予算の中で、より充実した教育環境を整備することを目指して、計画的な予算の執行と節約に努めていきます。

### 平成27年度学校配当予算決算報告書兼 平成28年度学校配当予算執行計画書

横浜市立高田中学校

#### 1. 学校運営振興費

費目	平成27年度決算		平成28年度執行計画		主な執行内容
	配当予算額	決算額	配当予算額	執行予定額	
報償費	280,000	5,000	280,000	0	他費目へ流用
消耗品費	7,732,000	8,548,893	8,432,000	8,599,600	各教科教材、各種用紙類、事務用品、印刷関連用品、管理用消耗品 他
食糧費	50,000	49,760	50,000	50,000	行事来賓用弁当代 他
印刷製本費	128,000	0	126,000	68,000	広報誌印刷、封筒印刷
修繕料	136,000	219,794	132,000	219,000	教材教具修理、事務機器修理 他
通信運搬費	123,000	89,540	121,000	100,000	切手
手数料	60,000	345,614	60,000	350,000	図書装備、ピアノ調律、暗幕カーテンクリーニング 他
委託料	137,000	68,040	137,000	137,000	学校契約処理廃棄物
使用料及び賃借料	707,500	763,904	682,500	787,500	自然教室生徒輸送費、卒業行事関係施設入場料、成績処理ソフト使用料
学用器具費	2,390,000	1,691,226	2,340,000	1,500,000	各教科教材、事務機器、部活動用備品、視聴覚機材 他
図書費	1,037,000	839,143	1,002,000	1,002,000	生徒図書室用図書(図書室環境整備のため消耗品等へ流用)
負担金補助及び交付金	20,600	0	20,600	0	他費目へ流用
施設小破修繕	830,300	946,684	830,300	1,400,300	ガラス修理、雨漏り修繕、消防設備改修、ネットワーク整備、電源改修 他
校地小破修繕	64,500	91,800	64,500	64,500	校庭及び校庭関連施設修繕
施設入場料(追加配当)	38,000	38,000	申請予定		卒業行事関係施設入場料
計	13,733,900	13,697,398	14,277,900	14,277,900	(総額裁量性予算のため費目予定額を超過して運用できます)

#### 2. 学校管理費

費目	平成27年度決算		平成28年度執行計画		主な執行内容
	配当予算額	決算額	配当予算額	執行予定額	
報償費	200,000	141,000	200,000	200,000	学校巡回員などへの報酬
燃料費	24,688	24,651	24,651	24,651	式典等の灯油など暖房用(本校は都市ガス使用のため)
計	224,688	165,651	224,651	224,651	